

## 2021年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
233141119	栄養教育実習 Nutrition Teaching Practice	石川 桂子		教職	1	選択	4前期

## 科目の概要

「食」の専門家として食育と食環境を整えることに視点を置いた、栄養教諭となるために小中学校で実習をします。小学校(中学校)の役割や組織について知り、栄養教諭としての職務を理解し、栄養教諭としての使命感、責任感を養います。また、児童生徒への理解や関係づくり、児童生徒への指導に関する実践力を養います。これらの体験を大学で学んだ理論と結び付けてリフレクションし、栄養教諭を目指す自己の課題を見極め、さらに向上を目指して知識と技能の修得に努め、児童生徒の豊かな食生活と健康を創造できる栄養教諭を目指します。

学修内容	到達目標
① 学校運営や学級運営、指導方法を知る。 ② 担任や栄養教諭の指導に立ち合い、指導方法を学ぶ。 ③ 児童生徒と係わりながら関係を築き、指導力を養う。 ④ 給食時に給食を教材とした指導について考える。 ⑤ 児童生徒の食の問題点をつかみ、その問題を解決するための授業を考える。	① 学校運営や学級運営、指導方法について知り、栄養教諭としての係わり方について考えることができる。 ② 担任や栄養教諭の指導に立ち合い、指導方法をつかんで、研究授業に生かすことができる。 ③ 児童生徒と係わりながら関係を築き、指導力を身に付けることができる。 ④ 給食時に給食を教材とした指導ができる。 ⑤ 児童生徒の食の問題点を解決するための授業をし、児童生徒の食に対する関心を高めることができる。

## 学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

## 学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	教育実習における必要な知識について、教科書・文献を使って自己学修をすることができる。
	働きかけ力	
	実行力	強い意志を持ち、将来の目標達成に向かって粘り強く取り組み続けることができる。
考え抜く力	課題発見力	課題を明らかにするために情報収集や分析ができる。
	計画力	
	創造力	固定概念に捉われずいろいろな方向から考えることができる。
チームで働く力	発信力	自分で調べた内容を的確な文章で表現し、他人にわかりやすく発表できる。
	傾聴力	相槌や共感を示しながら、相手の話を素直に聞くことができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	欠席、遅刻、私語、居眠りなどせず、授業が円滑に進むよう規律を守ることができる。
	ストレスコントロール力	

## テキスト及び参考文献

テキスト：プリント 「<栄養教諭>教育実習の手引き 愛知学泉大学」  
 参考書：「食に関する指導の手引き 第一次改訂版」(文部科学省) 東山書房1200円 「栄養教諭のための学校栄養教育論」(笠原賀子) 医歯薬出版2800円 「栄養教諭<第2版>」(金田雅代) 建帛社2400円

## 他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：教職入門 教育原理 教育心理学 教育制度論 生徒指導論 教育方法論 特別支援教育論 総合的な学習の時間の指導法 教職特別講座 道徳教育の理論と実践 教育相談 特別活動の指導法 教育課程論 学校栄養指導論 実習指導 教職実践演習  
 資格との関連：栄養教諭一種

## 学修上の助言

栄養教諭は、栄養士・管理栄養士の素養に加え教員としての資質が必要であり、教育実習をとおして児童生徒と関わることができる貴重な機会である。十分に準備をして有効に生かしてほしい。また、漢字の書き順等研究授業に向けて基礎的な勉強もしておいてほしい。

## 受講生とのルール

児童生徒の食に関する問題点を探り、その問題点を解決するためにはどうしたらよいかという視点を養うために、児童生徒と様々な教育活動をおして多くの場面で係わってほしい。欠勤をしないように体調管理等に留意する。

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント			
学修成果	学期末試験	0	①				
			②				
			③				
			④				
			⑤				
	平常評価	小テスト	0	①			
				②			
				③			
				④			
				⑤			
		レポート	50	①		✓	以下の要点を満たした実習であったか、実習ノートで評価する。 ・学校運営や学級運営、指導方法が記入されており、栄養教諭の係わりについて考えることができています。 ・担任や栄養教諭の指導に立ち合い、指導方法について記述してある。 ・児童生徒とどのように関わったか記述があり、子どもたちとの関係や指導についての考えや実践についての記述がある。 ・給食時に給食を教材とした個別指導または集団指導をすることができた。 ・児童生徒の食の問題点をつかみ、問題を解決するための授業を研究授業として実施し授業後の指導教員の教え、子どもの様子などの記述がある。 ・栄養教諭への思いが書かれている。
				②		✓	
				③		✓	
				④		✓	
				⑤		✓	
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	40	①	✓	・実習受け入れ校の評価 A評価 40点 B評価 30点 C評価 20点			
		②	✓				
		③	✓				
		④	✓				
		⑤	✓				
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	（主体性）予習が教科書レベルで実行できている。 （実行力）予習が教科書以外の情報源から修得する行動ができている。 （課題発見力）本時の授業の目標を達成するために不足している知識・技能を抽出し、その内容について学修ができている。 （創造力）本時の授業の目標を達成するための課題を解決するために修得した知識・技能を最大限に活用して、提示した課題を解決することができている。 （発信力）本時の授業の目標を達成するための知識・技能について、分かりやすく整理してまとめたことを記述（図表含む）することができている。挙手の回数については、回数を得点化する。 （傾聴力）本時の授業で提示した質問項目について、学生間で意見交換をします。相手の意見が分かりにくい、疑問について質問をすることができる、また意見を引き出すコメントができている。 （規律性）授業終了時に【学修行動特性評価】シートを提出することができている。		
			②	✓			
			③	✓			
			④	✓			
			⑤	✓			
総合評価割合		100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
A（優）は、評価の観点に沿って実習ノートがまとめられ、遅刻や早退、欠席、忘れ物をせずに実習することができた。 S（秀）は、A（優）に加え、実習受け入れ校の評価がA評価である。	遅刻や早退、欠席、忘れ物をせずに実習をすることができ、実習ノートに活動内容や子どもとのかかわりが記入してある。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1～15	<p>実習校の定める実習計画に則って実施される。</p> <p>実習内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校運営について学び、学校における栄養教諭の係わりについて理解する</li> <li>・学級運営について学び、給食時間など栄養教諭としてどのように関わったらいいか考える</li> <li>・学級活動に参加し、学級担任が行う指導を観察する</li> <li>・学校行事等に参加し、学級担任等が行う指導を観察する</li> <li>・実習校における食育の全体計画と年間計画について学ぶ</li> <li>・実習校における家庭・地域との連携について学ぶ</li> <li>・学級活動における指導案を作成する</li> <li>・子どもと係わり、理解し、指導方法について学級担任等から学ぶ</li> <li>・偏食等問題のある子供への言葉かけの方法を栄養教諭や学級担任等から学ぶ</li> <li>・緊急事態に対する処置とノロウイルスの特性を理解し、実習校におけるルールを学ぶ</li> <li>・協力の大切さと給食当番の衛生管理の指導の実際を学ぶ</li> <li>・食事のメニューについての指導方法の実際を学ぶ</li> <li>・研究授業の実施</li> <li>・授業研究による授業と実習の反省</li> </ul>	<p>教育実習</p> <p>google classroomによる質問の受付</p>	<p>実習校において支障なく最低限のことができる</p>	<p>予習：実習内容の確認、児童生徒等へのあいさつを考える</p> <p>研究授業の準備、実習校からの指示による</p> <p>復習：指導講話、授業観察等のまとめ、給食時間における児童生徒の観察記録、研究授業による児童生徒の変容、実習校からの指示による</p>	900	<p>主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性</p>

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力